

メディアセンター/ FM/AM レシーバー

取り付けと接続

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買上げ店に依頼する

本機の実取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

本機の接続コードの色は、JEITA*コードカラーに準拠しています。

* JEITAは、電子情報技術産業協会の略称です。

販売店様へお願い

本機の実取り付け後、この「取り付けと接続」は、必ずお客様へご返却ください。



目次

⚠警告 安全のために	2
付属部品の確認	4
① メディアセンター本体を取り付ける	6
② TVチューナーユニットを取り付ける	10
③ TVチューナーユニットと接続する	10
④ メディアセンター本体と接続する	10
接続例	11
各コードの接続について	13
⑤ 車両側と接続する(接続図全体)	14
⑥ TVアンテナを取り付ける	16
⑦ コードを処理する	19
⑧ 車のエンジンをかけて、メディアセンターを起動させる	20
フロントパネルプレートのはずしかた	21
故障かな?と思ったら	22

XAV-7W

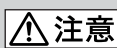
警告 安全のために

警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災 感電
行為を禁止する記号



禁止 分解禁止



火災

感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

本機はDC12V マイナスアース車専用です

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



禁止



運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付け

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

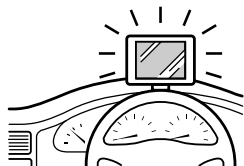
- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。

前方の視界を妨げる場所に取り付けない

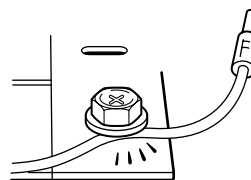
前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。



禁止



禁止



雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付け

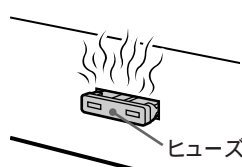
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。



禁止



禁止



ヒューズ

取り付け、接続作業をするときには、必ずイグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく

イグニッションキーをONにしたまま作業すると、バッテリーあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの危険があります。



禁止

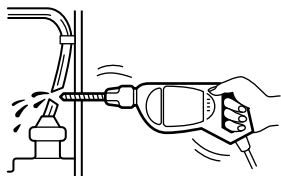


パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



禁止



ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

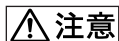
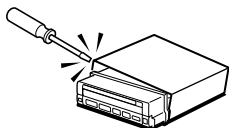
車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

安定した場所に取付ける

振動の多いところや、天井などに取付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



禁止

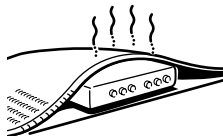


本機の通風口や放熱板をふさがない

フロアカーペットの内側やマットの下などに設置して通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災などの重大事故の原因となります。



禁止



付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

付属部品の確認

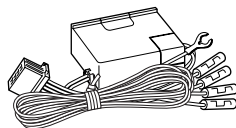
この「取り付けと接続」に記載されている取り付け先または接続先の機器は、すべて別売り品です。ただし付属品は除きます。

メディアセンター本体

① TVチューナーユニット



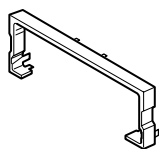
② 電源コード



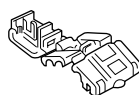
③ 接続コード(5.0m)



④ フロントパネルプレート^{*1}



⑤ 圧着式コネクタ



⑥ ⊕K5×6(×4)



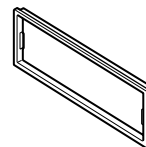
⑦ ⊕T5×6(×4)



⑧ ワッシャー(∅6)(×2)



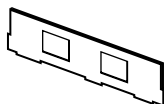
⑨ 日産専用プレート



⑩ 両面テープ(プレート用)



⑪ 型紙



⑫ 飾りフレーム^{*2}

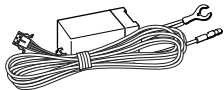


*1 本体に取り付けられた状態で出荷されています。

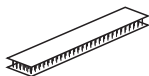
*2 ワッシャー⑧、飾りフレーム⑫は、取付キットGMD-236(欧州車、マツダ車、フォード車用)をお使いになるときに使用します。ワッシャー⑧は本機側に入れ、取付バネとともに皿ネジ⑥で取り付けます。GMD-236に付属されている飾りフレームは、この場合には使いません。

TVチューナーユニット

⑬ 電源コード

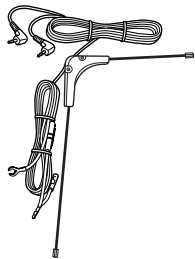


⑭ 面ファスナー(×2)

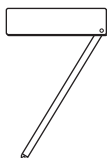


TVアンテナ

⑮ TVアンテナ(左1、右1)



⑯ アース板(×2)



⑰ アンテナエレメント
補助クランパー(×4)



⑱ コードクランパー(×4)



⑲ クランパー



1

メディアセンター本体を取り付ける

取り付け位置

前方視界を妨げることがなく、また運転中極端に視線を動かさずにすむようにセンターコンソールやインダッシュの高い位置に取り付けてください。2DINサイズの場合は、必ず上段に取り付けてください。

取り付け角度

水平から25°以内で取り付けてください。25°以上傾けて取り付けるとモニターの設定/収納ができなくなるなどの原因となります。

ご注意

ユニット同士やコード類は離してください。
- メディアセンター本体とTVチューナーユニット
- メディアセンター本体とTVチューナーユニット接続コード
近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出る場合があります。

本体を取り付ける前に

本機は安全性を重視して設計されておりますが、正しい位置に確実に取り付けを行わないと事故の原因となり大変危険です。

取り付けの前に、必ず以下の事項を確認してください。

- モニターをセットしたときに、エアコンの吹き出し口の近くのときは吹き出し口を閉じてください。
- モニターをセットしたときに、ハザードランプスイッチなどがモニターの後ろに隠れずに、すぐに押せることを確認してください。
- 本機(モニター)は極端に低温または高温になる場所には取り付けないでください。(キャビネットの変形や液晶パネルの故障の原因になります。)また、直射日光下の車内はかなりの高温になりますので、日光が直接当たらないようにしてください。

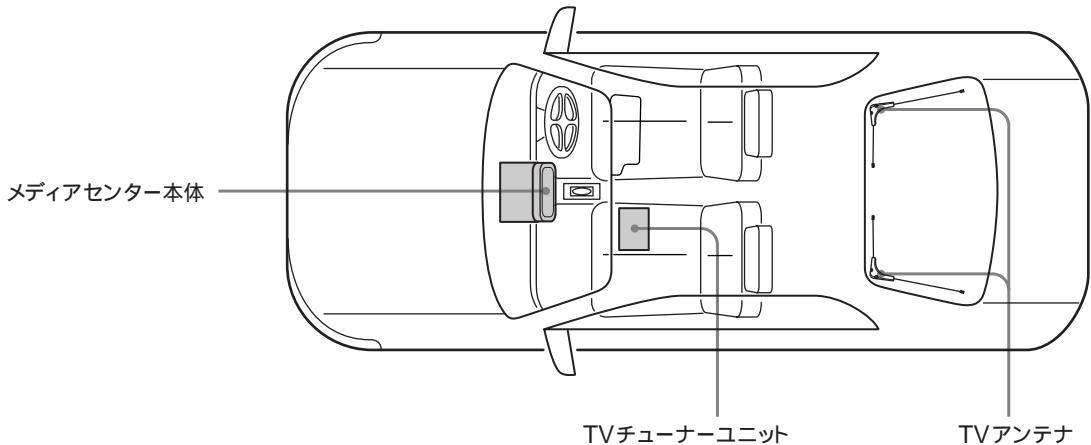
1

イグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく

2

仮置きして(下図参照) ケーブルの長さやモニターの位置などを確認する

下図のように取り付けられるかどうか、ご使用になっている車に合わせて各ユニットを配置してください。



センターコンソールやインダッシュに取り付ける 国産車に取り付ける場合

型紙⑩の使いかた

型紙⑩は、本機のパネルの形状に合わせてあります。車両側のクラスターパネルを加工する際、確認用に使用していただくとう便利です。中心の2つの穴に指をかけた、「UPPER」側を上 に します。

トヨタ車や日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオを外して、その後本機を取り付けられます。ただし、車種(一部のトヨタ車、スバル車など)によっては、本機のモニターローディング機構の動作寸法より小さな場合があります。

マツダ車の場合、別売り取り付けキットGMD-236をご使用することをおすすめします。

モニターをスムーズに出し入れさせるために、いかなる車種でもクラスターパネルが下記の寸法通りになっているか必ず確認してください。

寸法通りになっていない場合、下記寸法図を参照して取り付ける車両のクラスターパネルを加工してください。(詳しくはお買い上げ店にご相談ください。)

外国車/輸入車に取り付ける場合

欧州車またはフォード車の場合、別売り取り付けキットGMD-236をご使用することをおすすめします。

モニターをスムーズに出し入れさせるために、いかなる車種でもクラスターパネルが下記の寸法通りになっているか必ず確認してください。

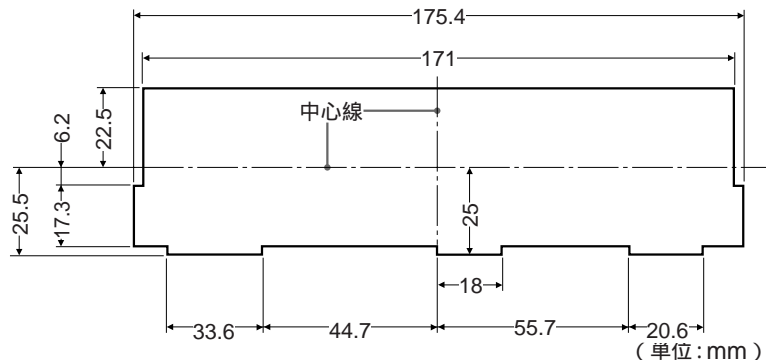
寸法通りになっていない場合、下記寸法図を参照して取り付ける車両のクラスターパネルを加工してください。(詳しくはお買い上げ店にご相談ください。)

●●● ご注意

右図のイラスト寸法と合わないまま本機を取り付けると、モニターがスムーズに立ち上がらないなどの不具合が出ることがあります。

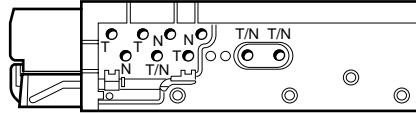
そのときは、どこか箇所が寸法図通りになっていないのかをもう一度確認して、クラスターパネルを加工してください。車種によっては、別売りの取り付けキットをご使用ください。(詳しくはお買い上げ店にご相談ください。)

クラスターパネル寸法図

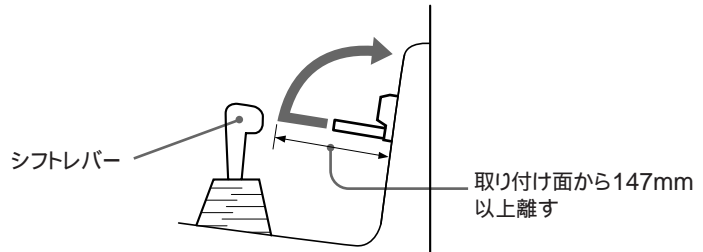


取り付け時のご注意

- 取り付けは慎重に行ってください。本機を落下させたり、ぶつかけたり、無理な取り付けを行いますとシャーシが歪んでモニターのローディング機構が動作しなくなり、故障の原因となります。
- 純正ブラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に刻印されている「T」(トヨタ車/三菱車用)、「N」(日産車用)、「T/N」(トヨタ車/三菱車/日産車共用)マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジ⑥または⑦で取り付けてください。



- 欧州車、マツダ車、フォード車用取り付け金具GMD-236を使用する場合は、付属のネジ⑥とワッシャー⑧で金具を取り付けてください。
- モニターのセット/収納のためには、シフトレバーを一番前にした状態からメディアセンターの取り付け面まで147mm以上の間隔が必要です。



- シフトレバーの位置によっては、モニター部が当たる場合があります。シフトレバーを一番前にしたときに運転の操作の妨げにならないことを確認してください。
- 本機と他のカーオーディオ機器(1DINサイズ)を重ねて取り付ける場合は、本機を上段に取り付けます。

本機を取り付ける

1 純正カーオーディオを取り外す

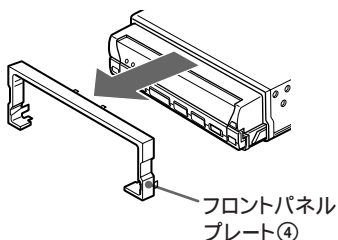
センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取り外し、カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、本機を取り付けます。

2 本機を仮置きする

• 本機の後部が車両側にあたりるときや、モニターをセットしたときにモニターの上背部がセンターコンソールにあたりそうなときは、取り付け位置を移動させてください。本機は14mm前方へ移動させて取り付けることができます。前方へ取り付けるときは、フロントパネルプレート④を取りはずしてください。

• 本機を14mm前方へ移動させて他のカーオーディオ(1DINサイズ)と重ねて取り付ける場合、車種によってはマスターユニットの操作が困難になることがあります。操作しやすいかどうか、必ず取り付けの前に確認してください。

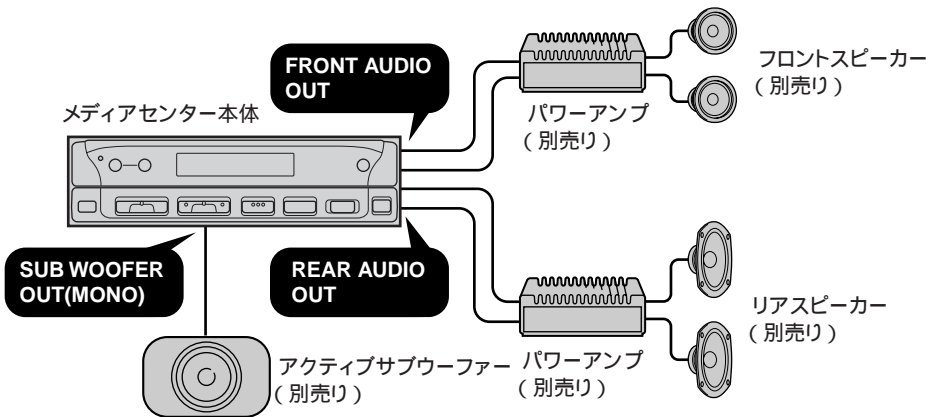
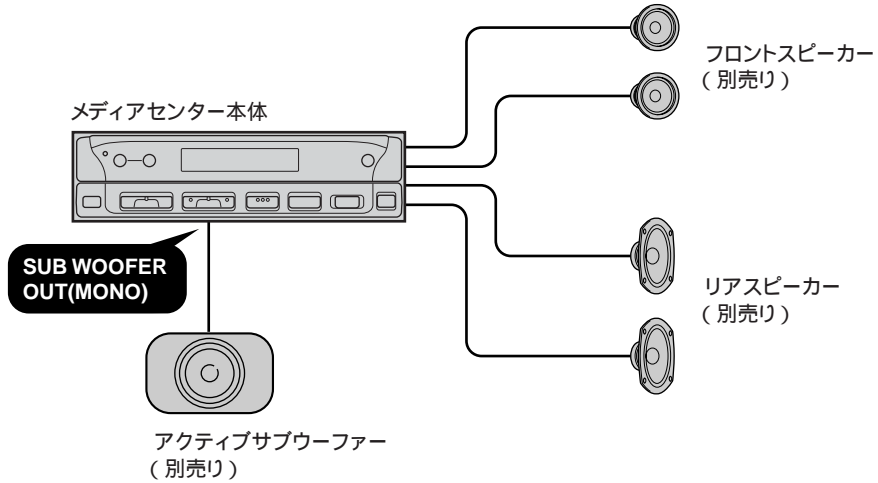
フロントパネルプレートを取りはずす場合(21ページ参照)



接続例

詳しくは、「**5** 車両側と接続する(接続図全体)」(14 ~ 15 ページ)をご覧ください。
接続の際は、必ず接続先の取扱説明書もあわせてご覧ください。

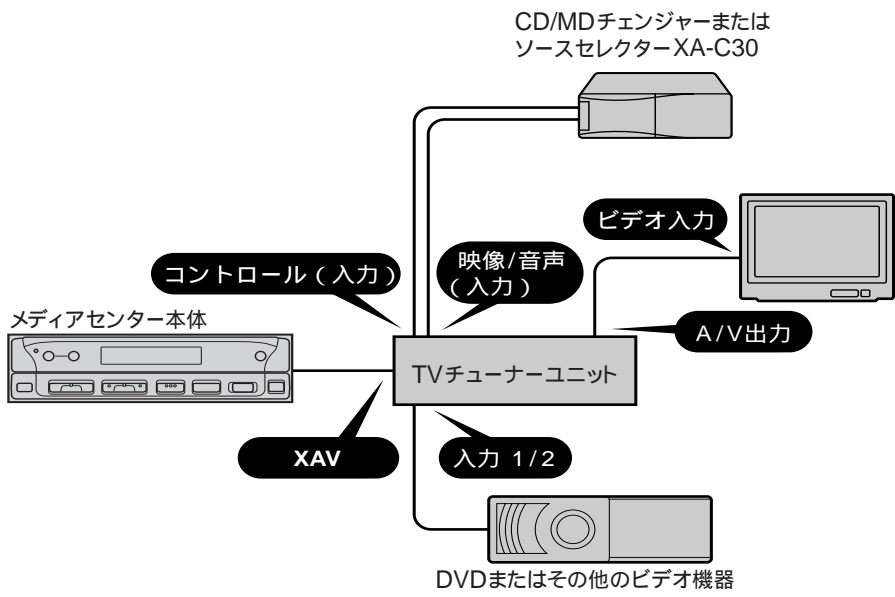
スピーカーとの接続



●●● ご注意

- アンプを接続する前に、必ずアースコードを接続してください。
- 本機のスピーカーコードにアクティブスピーカー(アンプ内蔵スピーカー)を接続すると、本機を破損するおそれがあります。アクティブスピーカーの使用を避け、通常のスピーカーをお使いください。

別売り機器との接続



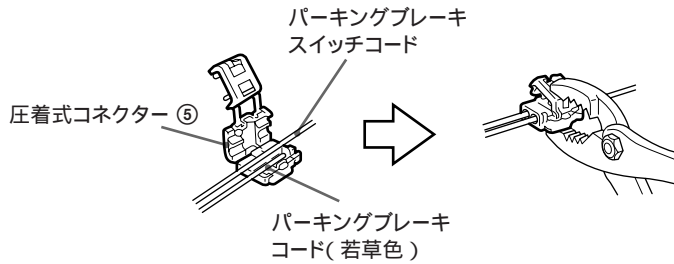
各コードの接続について

詳しくは、「**5** 車両側と接続する(接続図全体)」(14 ~ 15ページ)をご覧ください。

圧着式コネクターの使いかた

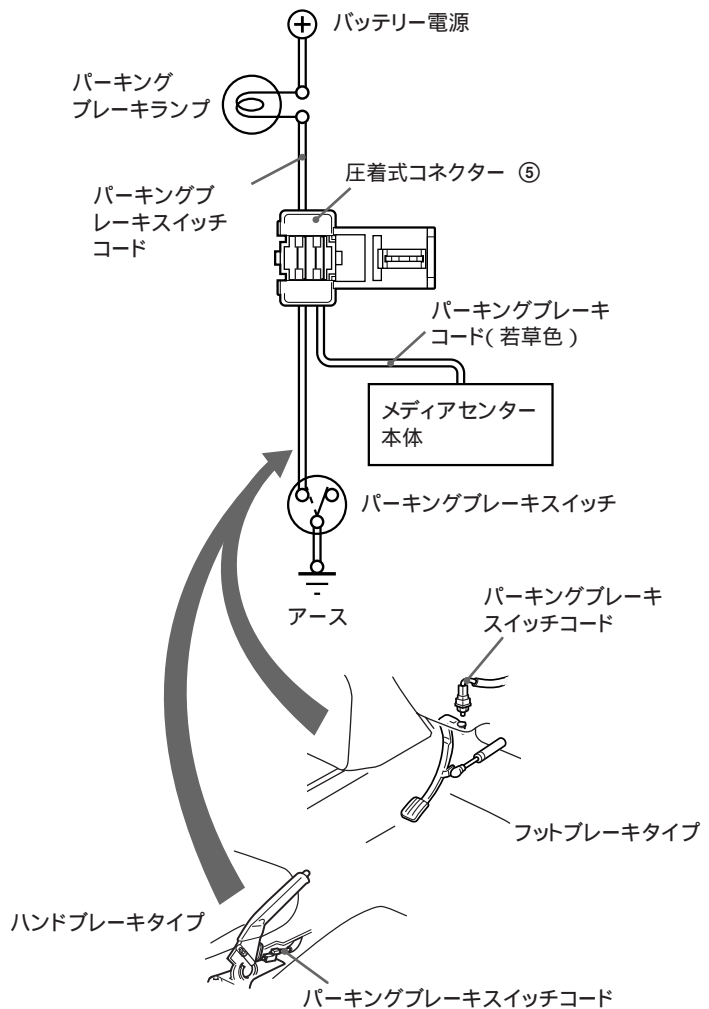
ご注意

- 電源コードの接続は、必ずすべての配線を済ませてから行ってください。
- パーキングブレーキコードが非常に細い場合は、圧着式コネクターを使わず、直接パーキングブレーキコードを接続してください。



パーキングブレーキコードの位置について

パーキングブレーキコード(若草色)は必ずパーキングブレーキスイッチコードに接続してください。パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。



必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

前ページ、「各コードの接続について」もご覧ください。

- この「取り付けと接続」に記載されている取り付け、接続先の機器は、付属品を除きすべて別売品です。接続の際は、必ず接続先の機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。
別売品の仕様については、当社のテクニカルインフォメーションセンター、お客様ご相談センター、またはお買い上げ店にご相談ください。

ショート事故を防ぐために

作業中のショート事故防止のため、電源コード(赤色コードと黄色コード)の接続は、必ずイグニッションキーをOFFにしてすべての配線を済ませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の破損の原因になります。

ヒューズを交換するときは、配線などをチェックして、原因を確認し適切な処理を行ってから、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

次のコードは必ず接続してください。

接続しないと、感電や故障の原因になり、正しく動作しないことがあります。

- 若草色コードを車両側のパーキングブレーキスイッチコードに接続する。
- 黄色コードを車両側のバッテリー電源へ接続する。
- 赤コードを車両側のアクセサリ電源へ接続する。
- 黒コードを車体の金属部分へ接続する。
- * 黄色と赤色コードを逆につなぐと、メモリーが消えるのでご注意ください。

次のご注意を守ってください。

守らないと感電や故障の原因になり、正しく動作しないことがあります。

- 接続しないコードは、安全のためビニールテープを巻いて絶縁してください。ショートの原因となる場合があります。
- FM/AMアンテナコード、バスケーブル、RCAピンコード、および電源コードの各コードは、できるだけ離して配置してください。ノイズの原因となります。
- バスケーブルやコード類を外すときは、コネクタ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、コードが抜けてしまうことがあります。
- 車両側から本機に配線する場合は、配線キットを必ずご使用ください。
配線キットをご使用にならないと故障の原因となる場合があります。当社では車種別配線キットを用意しておりますので、お買い上げ店にご相談ください。



ご注意

TVアンテナはFM/AMアンテナから離して取り付けてください。

FM/AMアンテナ接続についてのご注意

- アンテナコントロールコード(青色)には、TVチューナーユニットの電源を入れたとき +12 V DCの電流が流れます。
- ご使用の車がFM/AMアンテナを内蔵している場合は、アンテナコントロールコード(青色)またはアクセサリ電源コード(赤色)のどちらかを、アンテナプースターの電源端子に接続してください。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。
- リレーボックスのないパワーアンテナを本機で使用することはできません。

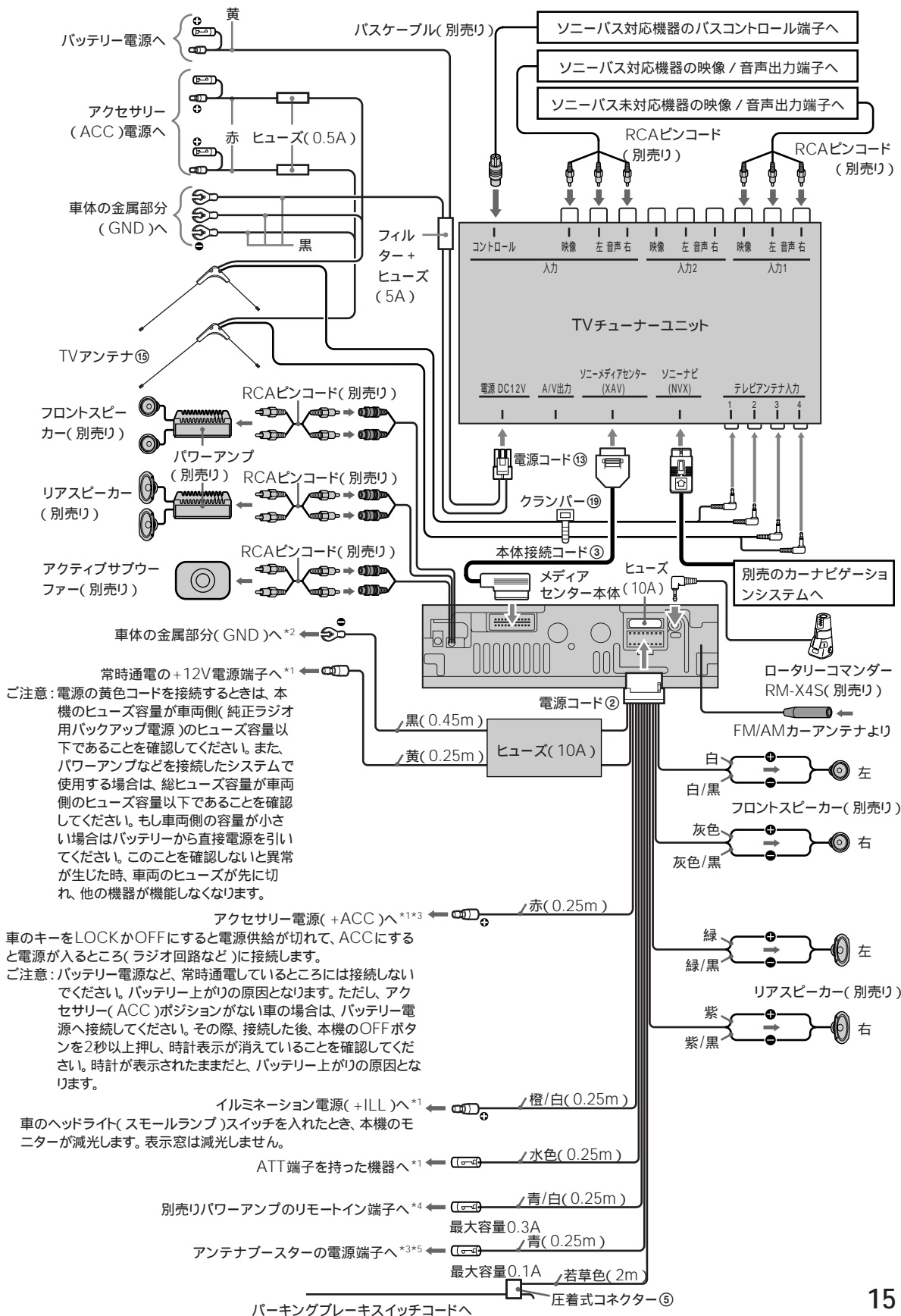
メモリー保持についてのご注意

電源入力コード(黄色)を接続しておくと、イグニッションキーをOFFにした場合も、メモリー回路に常に電源が供給されます。

スピーカー接続についてのご注意

- スピーカーを接続する前に、必ず本機の電源をOFFにしてください。
- スピーカーは、インピーダンス4～8 のものを使用してください。定格外のスピーカーを接続すると、故障の原因になります。
- 十分な許容入力を持つスピーカーを使う。
- スピーカー端子を車のシャーシに接続しないでください。
- 本機のアース用コード(黒色)をスピーカーの⊖端子に接続しないでください。
- 複数のスピーカーを並列に接続しようとししないでください。
- 本機のスピーカーコードにアクティブスピーカー(アンプ内蔵スピーカー)を接続すると、本機を破損するおそれがあります。アクティブスピーカーの使用を避け、通常のスピーカーをお使いください。
- 既設の純正スピーカーコードを使うときは、左右のスピーカーコードの⊖端子が共通になっているものは使わないでください。
- スピーカーコードどうしを接続しないでください。

- *1 黒コードを最初に接続してください。
- *2 黒コードを接続してから、黄コードと赤コードを接続してください。
- *3 既設のFM/AMアンテナが後部窓に設置されているときは、「FM/AMアンテナ接続についてのご注意」(前ページ)をご覧ください。
- *4 この接続はアンプ用です。他の機器に接続すると、故障の原因になります。
- *5 接続先がパワーアンテナ以外の場合や、手動式のアンテナの場合は、接続の必要はありません。



取り付けたら

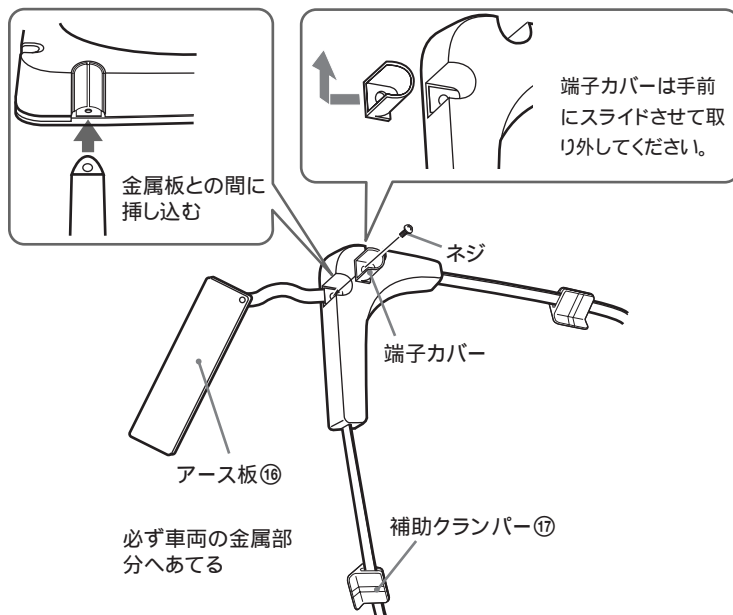
- 24時間は無理な力を加えないでください。
- 走行前に、確実に固定されていることを必ず確認してください。
- 取り付け後は、取り付け状態をときどき点検してください。
- アンテナ本体、エレメント、コードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン、ワックスなどで拭かないでください。(変形、破損の原因になります。)
- 次のような場所では、映像が映りにくくなります。
 1. ビルとビルの間
 2. 高圧線、送電線付近
 3. 飛行機が近くを飛んでいる場合
 4. 電車が近くを走行している場合
 5. 山中や放送局から遠い場所
 6. トンネル内
 7. ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナ付近

● ちょっと一言

取り付け面に付着している汚れなどを拭きとってから、取り付けてください。

2 アース板⑩をアンテナ本体に取り付ける

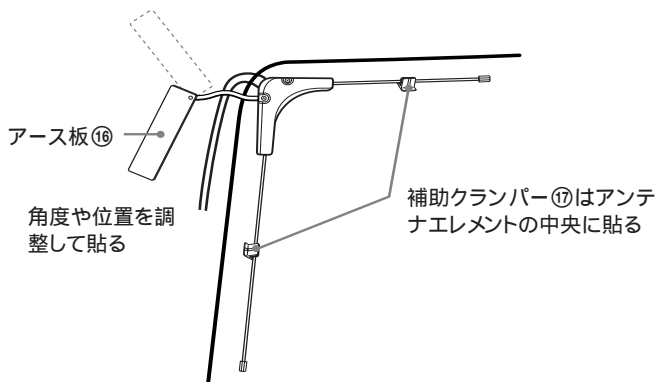
受信感度が低下しますので、アース板は必ず取り付けてください。



この段階では補助クランパーは貼り付けず、アンテナクランパーに挟み込んだままにしてください。

3 TVアンテナ裏面のはくり紙をはがし、貼り付ける

アンテナエレメントをまっすぐ伸ばして貼り付けてください。



TVアンテナの取り付けについてのご注意

- 取り付けは、かならず室内側のリアウィンドウにしてください。
- 視野の妨げになるところには取り付けないでください。
- 必ずACC電源へ配線してください。
- 外部アンプやリアスピーカーのコードはTVアンテナからできるけ離してください。

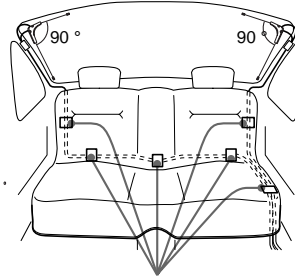
TVアンテナコードを配線する

TVアンテナの使いかたと取り付けかたについては16ページの「**6** TVアンテナを取り付ける」をご覧ください。

1 TVアンテナ**⑮**を室内側のリヤウインドウに取り付ける

2 TVアンテナコードを配線する

下図も参照してください。

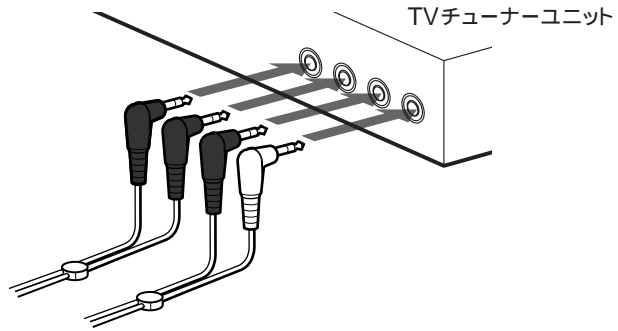
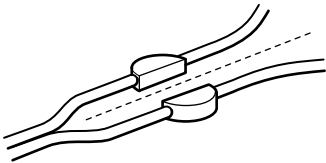


シート下にテープで固定する

3 TVアンテナコードをTVチューナーユニットへ接続する

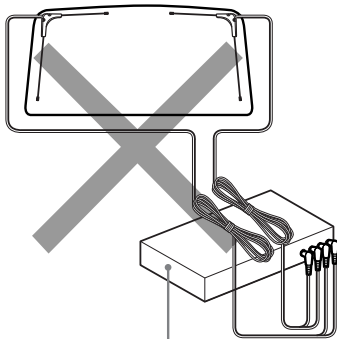
●●● ご注意

* TVアンテナコードを切る場合、下図のように必ずコードに沿って切ってください。

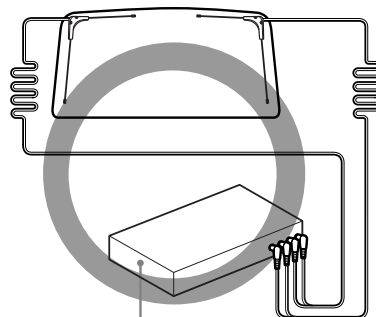


TVアンテナコードの余長分の処理について

TVアンテナコードを束ねてTVチューナーユニットの近くに設置すると、ノイズが発生することがあります。コードは束ねないようにまとめ、TVチューナーユニットからできるだけ離れた所に設置してください。



TVチューナーユニット



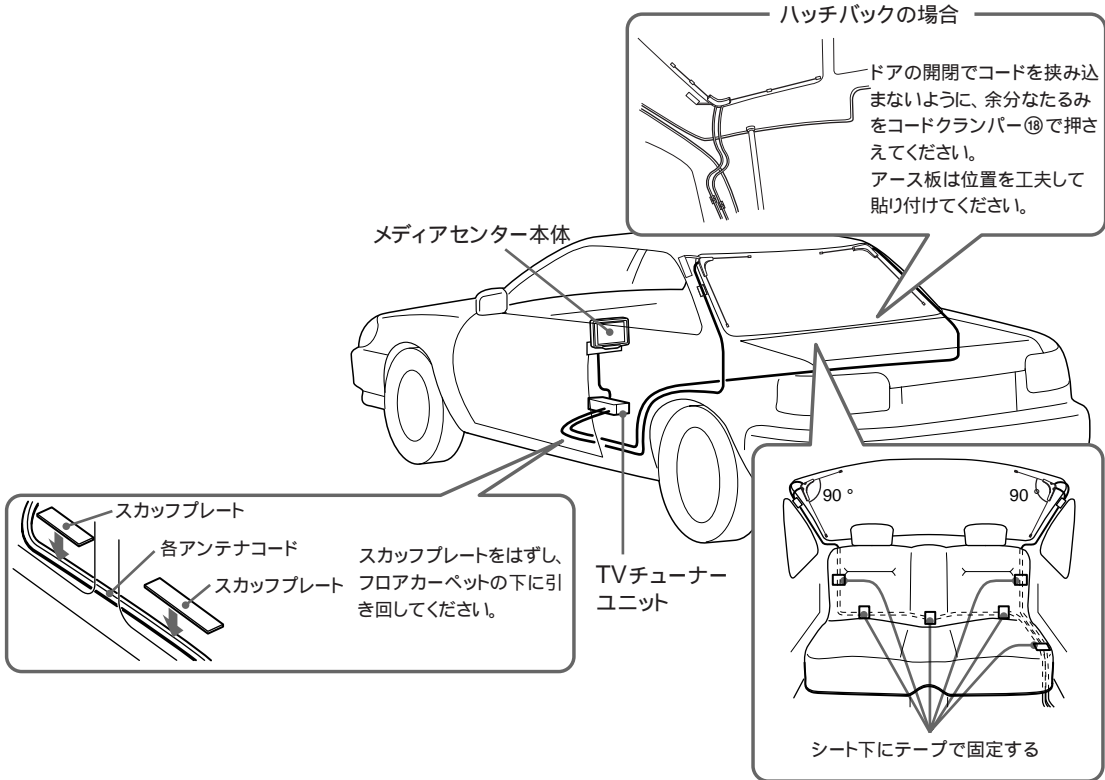
TVチューナーユニット

7

コードを処理する

取り付けと接続が終わったら、コードは運転の妨げにならないようにまとめてください。

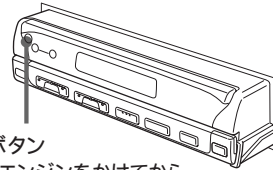
コードがシフトレバーなどにかかると、非常に危険です。また、TVチューナーユニット接続ケーブルは、メディアセンター本体からできるだけ離してください。近くに設置すると、テレビ画面にノイズが発生することがあります。



- 1 車のエンジンをかける
- 2 ブレーキランプやライト、ホーン、ウinkerなど、すべての電装品が正しく動作することを確認する
- 3 メディアセンター本体のリセットボタンをつまようじの先などで押す

 ご注意

針のようなもので強く押すと故障の原因となります。



リセットボタン
必ず車のエンジンをかけてから、
つまようじの先などで押してください。

- 4 本機が正しく動作するか確認する

故障かな?と思ったら

症状	原因および処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・ バッテリー電源(⊕BAT) アクセサリー電源(⊕ACC) アース(GND)が正しく接続されていない。 接続を確認してください。 ・ 各コネクタが確実に差し込まれていない。 接続を確認してください。 ・ モニターの電源がOFFになっている。 モニターのSOURCEボタンを押してください。(本体の取扱説明書を参照してください。) ・ TVチューナーユニット接続ケーブルは、メディアセンター本体から、TVチューナーユニットのソニーメディアセンター端子へ接続します。 ・ ヒューズが切れている。 メディアセンター、電源コード、車両側のヒューズを確認してください。(15ページ参照)
テレビの映りが悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・ TVアンテナの電源コード(赤色、黒色)が接続されていない。 接続を確認してください。(15ページ参照) ・ TVアンテナの電源コード(赤色)のヒューズが切れている。 ヒューズを確認してください。(15ページ参照)
テレビが映らない	<ul style="list-style-type: none"> ・ TVアンテナが接続されていない。 TVアンテナを接続してください。(16ページ参照) ・ TVチューナーユニットとメディアセンター間のコードが接続されていない。 接続を確認してください。 ・ 若草色コードと車両側のパーキングブレーキスイッチコードが接続されていない。 接続を確認してください。
モニターがスムーズに立ち上がらない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車両のクラスターパネル(本機取り付け部)が小さい。 クラスターパネル(本機取り付け部)の寸法を確認してください。(7~9ページ参照)
画面がながれる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各コネクタが確実に差し込まれていない。 接続を確認してください。
色がつかない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各コネクタが確実に差し込まれていない。 接続を確認してください。
フロントスピーカーとリアスピーカーの音が逆に出る	<ul style="list-style-type: none"> ・ スピーカーコードが逆に接続されている。
ラジオが受信できない 雑音しか出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合、パワーアンテナコントロールリード(青色)または、アクセサリー電源コード(赤色)を、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続してください。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。 ・ オートアンテナが上がっていない。 パワーアンテナコントロールリード(青色)の接続を確認してください。 ・ アース用コード(黒色)が正しく接続されていない。 ・ カーアンテナとの接続を確認してください。
ロータリーコマンダー (RM-X4S 別売り)がきかない	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロータリーコマンダーが接続されていない。確実に差し込まれていない。 接続を確認してください。

ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内(FAX付電話でご利用になれます)

カーフィッティングFAXサービス

車種メーカー、車種・車種形式別のカーオーディオ部の取り外し方法、
各種センサー位置等の資料

- インデックスの入手 / 03-3552-7209 → 車種メーカー別のBOX番号を受信
- 資料請求 / 03-3552-7488 → アナウンスに従いご希望の車種の該当BOX番号を入力してください。

24時間
お手元のFAXで
資料が取り出せます

- ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様のご負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。
- FAXサービスのメンテナンス日は 毎月第2木曜日 午前8:00～午後11:00となっております。ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。(第2木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。)

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として

「テクニカルインフォメーションセンター」

を開設しています。

お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときの相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話：048-794-5194

受付時間：月～金 9:00～18:00

(祝日、年末年始、弊社休日を除く)

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- 故障状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル……………  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311

● Fax ……………… 0466-31-2595

受付時間：

月～金

9:00～

20:00、

土・日・祝日

9:00～

17:00

この説明書は再生紙を使用しています。